

第2次テーマ 「日本の産業構造についてー広く日本の産業のありようについて」	
研究期間	H25年11月～H27年3月
主旨	<p>一国の経済成長/景気循環のプロセスでは産業構造の変化が重要な役割を果たすと          言われる中で、長期低迷する日本経済には産業構造の転換が強く求められる。</p> <p>過去の景気変動と産業構造の推移を検証すると共に官民挙げて目指す方向は如何に          あるべきか研究する。</p>
内容	<p>研究会開催実績</p> <p>25年 11月 研究内容及び各回毎のテーマについて          12月 「日本の産業構造」過去の推移と現状</p> <p>26年 1月 「各国の産業構造」国際比較ー1          2月 「各国の産業構造」国際比較ー2          3月 「各国の産業構造」国際比較ー3          4月 日本の産業構造ビジョンについての研究ー1          5月 日本の産業構造ビジョンについての研究ー2          6月 TPP問題の研究ー1          7月 TPP問題の研究ー2          9月 日本の「稼ぐ力」創出についてー1          10月 日本の「稼ぐ力」創出についてー2          11月 「自動車産業」ートヨタ他          12月 「化学産業」ー三菱化学、デュポン他</p> <p>27年 1月 「化学産業」ー三菱化学、デュポン他          2月 「電機産業」ー東芝他          3月 「電器産業」ー東芝他</p>
備考	
参加会員	<p>幹事 重富紀理事</p> <p>会員 黒山昭宣 丹治直昭 波多野正幸 眞鍋康雄          若木孝久</p>